

# 原田家

担当：生宗 脩一

工場や倉庫が多い水島地区に、勢い良く育つ‘菊桜’があります。1989年、佐藤清明生家の‘菊桜’の穂木を、原田さんがもらい受けて自宅倉庫横の台木に接ぎ木をしました。日当たりが良くなるように、‘菊桜’の枝を徐々に横向きへ曲げながら育てた結果、2022年も元気に花を咲かせました。原田さんは、普段から果物や樹木などの栽培研究をされている方です。今も開発が進んでいる水島で‘菊桜’の育成に関心を持ち続けておられます。

## 原田さんに育てられた 元気な‘菊桜’



撮影：2010/4/29



2022/4/27

【場所】倉敷市水島  
※敷地には入れません

# 岡山県立青少年農林文化センター 三徳園

担当：稲田 多佳子

小鳥の森として親しまれている三徳園には、岡山県各地の木や、珍しい桜がたくさん植えられています。昭和後期～平成初期の時代には佐藤清明ゆかりの‘菊桜’も植えられていたそうです。その時の‘菊桜’は枯れてしまったのですが、菊桜育成保存会と市民グループ、三徳園の方々の協力で、2020年に、再び佐藤清明の‘菊桜’由来の苗が植樹されました。まだ大人の背くらい大きさですが毎年20cmくらい成長しています。大きな芝生広場に植えられているから、お弁当を持ってお花見ができますよ。

## 小鳥の森に 帰ってきた‘菊桜’



撮影：2022/4/27

柵と黒い看板が目印です。探してみてください。



稲田 多佳子さん

【場所】岡山市東区竹原 505

## 後楽園前バス停そば

担当：生宗 脩一

「菊桜」は後楽園の園内だけでなく、園外の「後楽園前バス停」裏にもあります。

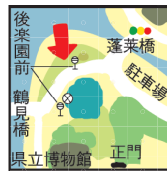
これはボランティア団体、ケア・フレンズ岡山の創立20周年を記念して、2013年に植えられました。石井正弘元岡山県知事や後楽園関係者が多く駆けつけ、京都の桜守である16代目佐野藤右衛門が植えました。その時の樹齢は6才、木の高さは約7mもありました。どの「六高菊桜」の子どもも分かっていません。2022年には、根を張ってしっかり発育した結果、約10mのたか〜い「菊桜」となりました！



「六高菊」の看板がめじし目印です！



撮影：2022/4/20



【場所】岡山市北区後楽園1

## たけへの森公園

担当：徳山 容

公園には広い桜園があり、その一角に5m以上もある大きな「菊桜」があります。根元に「六高菊桜」の看板と30周年記念植樹（2002年）という石碑があります。他の場所から移植されたようですが詳しい経緯は分かりません。



撮影：2022/4/17

【場所】岡山市北区建部町田地子 1571-40

## 森林総合研究所 材木育種センター 関西育種場

担当：生宗 脩一

長野士郎元岡山県知事は2004年に「六高菊桜」の増殖を関西育種場に依頼しました。同桜から採穂し、接ぎ木により増殖育成した後継樹が2008年に岡山朝日高校に里帰りし、同じ遺伝子を持つ苗木が関西育種場内に保存されています。



撮影：2022/4/22

【場所】勝田郡勝央町植月中 1043  
入場には事前届が必要となります。